

ごあいさつ

新潟県花き球根農業協同組合

代表理事組合長 豊島 正人



昭和28年に県の指導のもと多くの先人の努力によって設立され、そして此処に創立60周年を迎えることが出来ますことは関係者一同と共に喜びに堪えない次第であります。これまでの間、関係各位の皆様には格別のご指導、ご支援を賜り厚く御礼を申し上げます。

本県の花き球根栽培の歴史は古く、約110年前の明治37年頃にチューリップが初めて栽培されたといわれ、その後幾多の先人の献身的な努力によって今日の礎となりました。この間、組合の前期は新潟県に於ける花き球根界の争乱期であり産地体制の確立に奔走し、さらに昭和42年に組合の経営悪化が表面化し最終的に再建整備8ヵ年計画の達成の為の努力等々極めて困難な時代がありましたが、先代組合長はじめ諸先輩方の果たされた功績により、健全な組合体制の確立が推進されたのであります。

その後、組合の経営は年と共に安定成長の一途をたどる一方、近年は組合役職員、産地組合員の世代交代が徐々に成され新たな体制へと移行してきております。現在では花き球根専門農協としての役割を念頭に、組合を取巻く国内外諸情勢に常に打勝つべく、関係機関、そしてご愛顧頂いている取引各社とともに連携し、生産、販売体制の安定した発展のために推進しているところであります。

満60歳とは云え、農業団体として、また花き業界ではまだ若輩ではありますが、新潟県の花であるチューリップを永く繋ぐ組合として、さらに飛躍するために今後とも県内外の関係機関、種苗関係各社のご指導とご鞭撻をいただきますようお願いするとともに、組合員各位の親愛なるご協力をお願い申し上げまして、ご挨拶と致します。